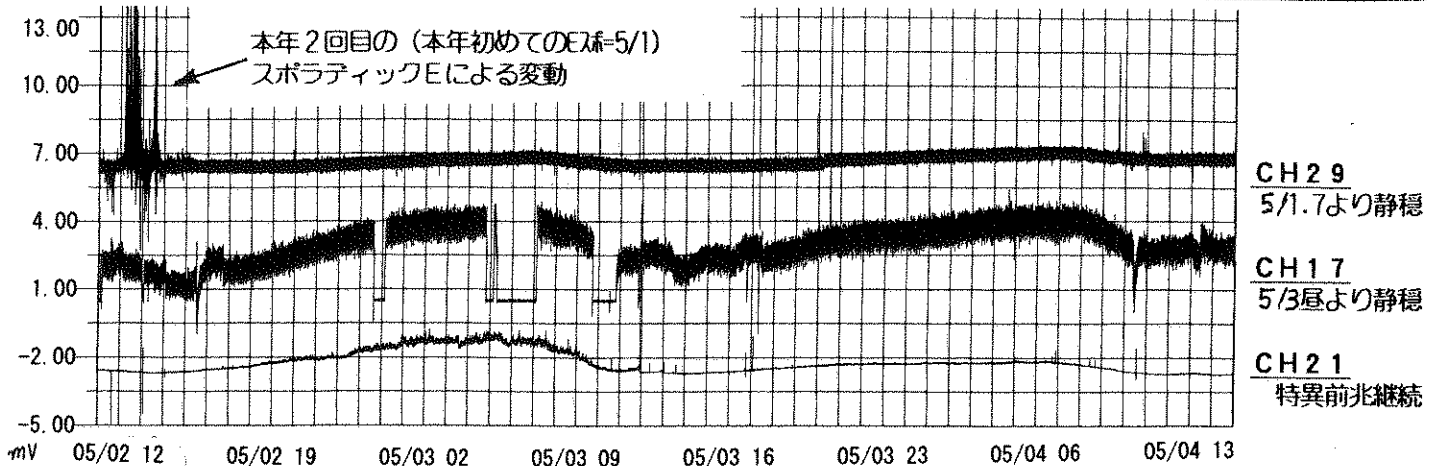


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北社市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 CH29=5/1.7 CH17=5/3.5 終息 CH21のみ継続



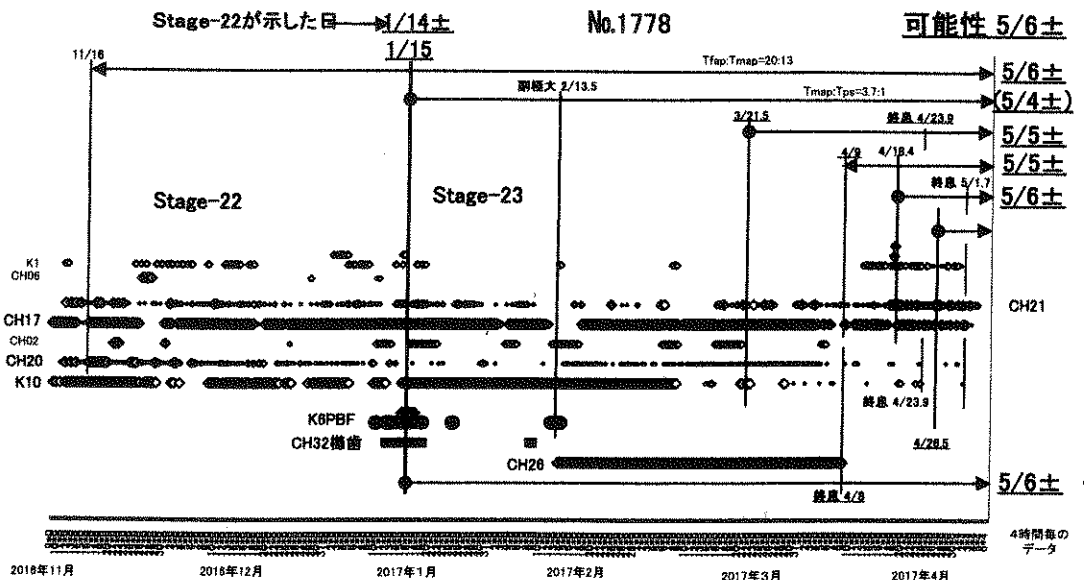
2008年7月初旬より出現し、観測史上最長となる8年10ヶ月もの長期に渡り前兆群が継続出現してきたNo.1778前兆。

最大時では30以上の観測装置に顕著な地震前兆が出現観測されましたが、本日現在は上基線波形のとおり、前兆が残っていたCH29特異・CH17特異も終息し、正常基線に復帰。現在はCH21のみに特異前兆が継続している状況です。

CH21以外の前兆変化の動向を右図の様な前兆関係で見ますと、全てが5月6日±時期を示します。

但し4/26.5が最終ピークと認識した場合は、CH21の前兆が現在終息していない点が含まれません。CH21は上波形のとおり、糸状態特異で、5/1.5又は5/3.5等にピークがある可能性も有、その場合は発生直前迄CH21特異は終息しないこととなります。

なぜCH21前兆のみが継続しているのか現段階では不明。CH32に微弱な歯前兆が3/1.5より出現していますが、関係がある場合は5/15±の可能性。5/8時点でCH21前兆継続の場合は5/15±の可能性で再考します。



- ◆推定領域：右図 点線領域=大枠推定
太線領域内=可能性考え易い
(ある程度火山に近い領域の可能性有)
※影響局誤認の場合は福島領域等東北領域の可能性となるが、辻褄が合わない前兆有。右図領域可能性が考え易い

◆推定規模：M7.8 ± 0.5

- ◆推定時期：可能性①=5月6日or7日
可能性②=5月15日±3
(可能性②=5/8時点でCH21前兆継続の場合)

- ◇推定地震種：陸域地殻地震 震源浅い
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間
(又は午後6時±3時間)

